

団体名	株式会社萩・森倫館
所在地	萩市大字東浜崎町4番地6
団体の目的	「もり・まち・ひとの有機的つながり」による風土・文化・伝統・技術の継承
活動地域	山口県萩市
地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿	かつて木材とともに森林から得られる竹や薪、炭などを利用した地場産業や生活に根ざした森林資源利用がなされていた集積地を再生するべく、行政と連携し、萩・森倫館が中心となって、市内に大きく広がる森林資源の循環利用を中心に、林業の再生と雇用創出のもりづくり、教育機関とも連携し地域資源を活用する人材づくり、森林資源を中心とした地域資源の利活用の継承と普及促進をおこなうまちづくりを行う。それらの事業を有機的につなげることによって、地域に根付く歴史・文化との関連付けや藩政時代から続く人材育成の地としての特色を生かした地域を目指す。
地域の現状・課題	市域の約8割を森林が占めており、地域林業の担い手たる林業事業体は阿武萩森林組合1者である。素材生産量の減少や木材・木製品の事業所の減少などは衰退傾向にあり、既存の市内林業事業体では木材の生産量の増加及び担い手の確保・育成が困難であることから、持続的な森林資源の利活用ができていない。また、40~50年前に発生した松枯れ後の林地に植林されたヒノキが今後伐期を迎え、枝打ちなど丁寧な管理がされてきた資源の利活用方法も課題となっている。
地域が持つ資源	地域産木材(主にヒノキ)を中心とした森林資源
取組内容	【実現したい事業】 ①地域産材利用促進事業 ②人材育成事業 ③森林資源利活用普及啓発事業
地域循環共生圏を 実践することで想定 される効果	【環境】川上から川下までの連携基盤が整い、地域に適正化された森林資源の循環が行われることで、森林・水源環境が健全化され、水産業も盛んな萩において山から海の循環構造の構築が期待できる 【経済】地域内事業者で高付加価値化を図ることで地域内経済循環が創出される。 【社会】地域内外連携による人材育成の場を創出することで、技術・経験の蓄積、担い手発掘、地域コミュニティの誘発のほか、関係人口の創出が期待できる

